



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ハークスレイ

コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 青木 達也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長

(氏名) 井手 是幸

TEL 06-6376-8088

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日

平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	24,184	0.3	387	13.0	612	△8.2	419	△10.7
27年3月期第2四半期	24,117	△5.6	343	63.8	667	18.5	469	27.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 421百万円 (△14.2%) 27年3月期第2四半期 491百万円 (28.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	42.38	42.33
27年3月期第2四半期	47.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	37,168	18,725	50.4	1,932.65
27年3月期	37,465	18,847	50.2	1,883.28

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 18,715百万円 27年3月期 18,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	13.00	—	20.00	33.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,300	5.5	958	14.9	1,260	△20.0	1,360	10.5	139.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	11,025,032 株	27年3月期	11,025,032 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,341,242 株	27年3月期	1,040,859 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	9,894,965 株	27年3月期2Q	9,985,175 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想など将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善と設備投資の回復による緩やかな回復が一部では持続しているものの、中国経済の情勢や円安を背景とする物価上昇の懸念に伴い景気停滞感が強くなるなど、先行きは不透明なまま推移いたしました。当社グループが属する「食」の分野におきましては、人手不足状況の継続や名目賃金の伸び悩みに伴う個人消費の低迷等、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、持ち帰り弁当事業では、食に対する安心、安全への「こだわり」をビジネスの中心に据え、多様化する消費者のニーズに対応するための商品開発、メニューのリニューアルを継続して進めてまいりました。

店舗委託事業においても積極的な新規出店・優良物件の仕入を展開し収入の拡大を実現するとともに、店舗管理事業では安定収入の確保に取り組んでまいりました。

また、フレッシュ・ベーカリー事業においては、季節商品の販売のほか、生産性の向上に取り組んでまいりました。物流関連事業においては、引き続きグループ外企業からの配送、食材加工、製品化等の受託拡大に取り組んでまいりました。

このような中、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高241億84百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益3億87百万円（前年同期比13.0%増）、経常利益6億12百万円（前年同期比8.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億19百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①持ち帰り弁当事業

地域の人たちの豊かな食生活に貢献する「わたしの街の台所」として、手作りによる家庭の温もり、まごころ、安心感をお届けする信頼の食を追求いたしております。「平日昼得キャンペーン」の継続により期間限定の低価格商品を継続して発売したほか、「うな重」や「牛カルビ重」といった高価格商品の発売等を通して、多様化するニーズにお応えしてまいりました。

また、「リラックマ夏のオードブルキャンペーン」や、「ほっかほっか亭×モンスターキャンペーン」等、人気キャラクターとのタイアップキャンペーン等に取り組んでまいりました。地域のイベントや会合等の特別注文に対応できる専用メニューの開発とホームページでの訴求強化により、来店顧客以外への販路拡大と売上向上への取り組みも行ったほか、プロ野球冠ゲームの主催や各種広報イベントを通してブランドの認知促進とイメージ向上へも取り組んでまいりました。

また、個人消費低迷が避けがたい影響を及ぼす中、ドラッグストア等、異業種とのコラボレーション出店への取り組みを強化し、お客様にとって、より利便性の高い利用シーンの提案に努めてまいりました。

この結果、持ち帰り弁当事業の売上高は105億83百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は6億84百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

②店舗委託事業

店舗委託事業においては、首都圏を中心に優良物件を仕入れ、積極的に新規出店を展開し収入の安定化を図るとともに不採算店舗を解約・閉鎖することで減価償却費や空家賃を圧縮し、利益率の向上と収益の安定化にも努めてまいりました。

この結果、店舗委託事業の売上高は114億75百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は1億71百万円（前年同期比154.0%増）となりました。

③店舗管理事業

店舗管理事業においては、当社が保有する物件の稼働率の維持・向上に努めながら、管理コストの削減に取り組むとともに、前期より新規事業として展開してきたビルオーナーに対するビル管理受託業務においても、管理数を順調に伸ばし収入の安定化を図ってまいりました。しかしながら、前期に保有物件を売却したことにより、前年同期比は、売上高・営業利益ともにマイナスとなりました。

この結果、店舗管理事業の売上高は2億96百万円（前年同期比6.2%減）、営業利益は1億68百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

④店舗直営事業

外食産業におきましては、景気停滞感が見られる中、個人消費の低迷傾向もあり、全体として先行きが不透明な状況が続いており、労働需給ひっ迫に伴う人件費の上昇等の影響も合わせ、依然厳しい環境が続いております。

このような状況の中、びっくり寿司を運営する店舗直営事業では、高級食材を生かしたメニューの開発、シャリの品質向上、季節のフェアを積極的に展開する等、お客様のニーズに対応した施策を行ってまいりました。

また、美観向上に向けた取り組みを行い、設備投資を積極的に推進してまいりましたが、再開発等による閉店、撤退による影響は大きく、来店客数においても前年対比減少となりました。

この結果、店舗直営事業の売上高は6億91百万円（前年同期比6.2%減）、営業損失は2百万円（前年同期は営業利益1百万円）となりました。

⑤その他の事業

フレッシュ・ベーカリー事業においては、引き続き新商品の提案に注力したほか、さつまいも、かぼちゃ、栗など季節限定商品を販売し、ご好評をいただいております。

また、人気商品である「クインシー」について、クリームの充填から包装までを一貫して行う機器を導入し、オペレーションの改善、生産性の向上を目指しております。

物流関連事業につきましては、引き続きグループ外企業からの配送等の物流案件や、食材加工、製品化等の受託案件の拡大に取り組んでおり、関西と関東を中心に積極的な営業活動を進めてまいりました。

物流案件としましては、コンビニエンスストア、居酒屋チェーン、レストランチェーンなどの各店舗への物流や、メーカー在庫の保管・物流など、業態を超えた取り組みを継続しております。

自社加工品の販売を柱とする受託案件につきましては、スーパーマーケットの惣菜としての唐揚げやチキンステーキなどが高評価を得てリピート注文を獲得いたしました。また、大学の学食や学生寮の食堂、飲食店などで使われる米につきましても着実に売上を伸ばしております。

その他の事業の売上高は、11億37百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は17百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2億96百万円減少し、371億68百万円となりました。主な要因として、商品及び製品が2億56百万円増加しましたが、現金及び預金が2億13百万円、受取手形及び売掛金が1億44百万円、建物等の有形固定資産が1億81百万円減少したことによるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少し、184億43百万円となりました。主な要因として、短期借入金が5億66百万円、長期借入金が5億90百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金が11億30百万円、未払消費税等が2億33百万円減少したことによるものです。

非支配株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少し、187億25百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末の50.2%から0.2ポイント上昇し、50.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間末と比べ12億37百万円増加、前連結会計年度末と比べ2億13百万円減少して72億60百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、6億75百万円（前年同期に得られた資金は16億51百万円）となりました。これは主に、法人税等の支払額2億66百万円がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上5億90百万円、減価償却費の計上4億94百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、2億36百万円（前年同期に使用した資金は2億45百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入83百万円、差入保証金の純減額44百万円がありましたが、有形固定資産の取得による支出3億42百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、6億52百万円（前年同期に使用した資金は8億97百万円）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出3億60百万円、配当金の支払額1億99百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は予想を下回りましたが、利益面においては収入の安定化を図るとともに一層の業務効率化を進めたこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を上回る結果となりました。また、1株当たり中間配当金につきましても、前回予想に比べて7円増配し20円といたしました。詳細につきましては、本日（平成27年11月11日）公表いたしました「平成28年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」及び「剰余金の配当（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年8月11日に公表いたしました「通期連結業績予想の修正、通期個別業績予想の前期実績値との差異及び合併に伴う繰延税金資産の計上に関するお知らせ」から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は49,836千円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が49,836千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,475,513	7,261,806
受取手形及び売掛金	1,796,902	1,652,254
商品及び製品	463,546	720,402
原材料及び貯蔵品	135,513	132,270
繰延税金資産	215,080	216,211
その他	833,254	873,958
貸倒引当金	△45,947	△39,634
流動資産合計	10,873,863	10,817,270
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,453,084	6,317,357
機械装置及び運搬具（純額）	101,435	97,335
工具、器具及び備品（純額）	354,067	363,437
土地	11,152,746	11,152,746
リース資産（純額）	105,793	91,740
建設仮勘定	36,790	—
有形固定資産合計	18,203,917	18,022,617
無形固定資産		
のれん	138,194	120,602
その他	172,568	158,277
無形固定資産合計	310,763	278,879
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,434	1,765,256
長期貸付金	140,683	122,564
敷金及び保証金	5,568,054	5,549,745
繰延税金資産	60,818	64,128
長期未収入金	1,390,405	1,367,779
その他	591,414	549,567
貸倒引当金	△1,380,894	△1,368,887
投資その他の資産合計	8,076,916	8,050,154
固定資産合計	26,591,597	26,351,651
資産合計	37,465,460	37,168,922

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,421,442	2,442,513
短期借入金	670,068	1,236,654
1年内返済予定の長期借入金	2,115,700	985,700
未払金	872,054	887,665
未払法人税等	284,607	204,358
未払消費税等	328,753	94,892
賞与引当金	170,599	172,506
その他	1,667,019	1,700,705
流動負債合計	8,530,245	7,724,995
固定負債		
社債	22,500	5,000
長期借入金	5,644,065	6,234,715
退職給付に係る負債	43,080	42,656
長期預り保証金	3,465,452	3,551,241
繰延税金負債	260,485	261,989
資産除去債務	397,138	384,497
その他	255,017	238,590
固定負債合計	10,087,740	10,718,689
負債合計	18,617,985	18,443,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,980,653
利益剰余金	12,214,773	12,434,317
自己株式	△1,516,253	△1,877,097
株主資本合計	18,665,985	18,574,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	136,980	140,884
その他の包括利益累計額合計	136,980	140,884
新株予約権	2,869	5,162
非支配株主持分	41,640	4,667
純資産合計	18,847,475	18,725,237
負債純資産合計	37,465,460	37,168,922

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	24,117,196	24,184,985
売上原価	18,357,206	18,543,533
売上総利益	5,759,989	5,641,451
販売費及び一般管理費	5,416,829	5,253,782
営業利益	343,160	387,669
営業外収益		
受取利息	4,337	2,511
受取配当金	4,482	5,306
受取賃貸料	104,744	97,230
負ののれん償却額	136,489	—
業務委託契約解約益	56,503	85,041
持分法による投資利益	10,519	12,051
その他	96,505	86,167
営業外収益合計	413,580	288,309
営業外費用		
支払利息	32,358	25,842
賃貸費用	24,142	17,045
業務委託契約解約損	8,731	3,633
その他	23,763	16,743
営業外費用合計	88,995	63,263
経常利益	667,745	612,715
特別利益		
固定資産売却益	7,166	11,072
受取和解金	750	—
受取保険金	25,994	—
受取補償金	—	80,000
その他	—	2,600
特別利益合計	33,910	93,672
特別損失		
固定資産除却損	25,008	5,967
固定資産売却損	12,494	1,366
投資有価証券売却損	857	—
投資有価証券評価損	5,300	—
減損損失	12,724	19,093
支払補償金	—	65,000
その他	7,174	24,100
特別損失合計	63,559	115,527
税金等調整前四半期純利益	638,097	590,860
法人税、住民税及び事業税	151,417	176,873
法人税等調整額	14,278	△6,032
法人税等合計	165,695	170,840
四半期純利益	472,401	420,020
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,873	643
親会社株主に帰属する四半期純利益	469,528	419,376

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	472,401	420,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,815	4,219
持分法適用会社に対する持分相当額	4,207	△2,730
その他の包括利益合計	19,023	1,488
四半期包括利益	491,424	421,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	488,086	421,059
非支配株主に係る四半期包括利益	3,337	449

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	638,097	590,860
減価償却費	579,432	494,871
のれん償却額	△115,225	17,591
固定資産売却損益(△は益)	5,327	△9,705
固定資産除却損	25,008	5,967
減損損失	12,724	19,093
投資有価証券評価損益(△は益)	5,300	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,600	△18,320
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,323	1,906
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	474	△424
受取利息及び受取配当金	△8,819	△7,818
支払利息	32,358	25,842
持分法による投資損益(△は益)	△10,519	△12,051
売上債権の増減額(△は増加)	195,935	144,648
たな卸資産の増減額(△は増加)	62,097	△253,613
仕入債務の増減額(△は減少)	95,453	21,071
未払消費税等の増減額(△は減少)	150,142	△233,861
その他	138,542	153,963
小計	1,776,406	940,020
法人税等の支払額	△127,936	△266,011
法人税等の還付額	2,938	1,473
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,651,409	675,482
投資活動によるキャッシュ・フロー		
利息及び配当金の受取額	9,242	8,320
有形固定資産の取得による支出	△413,270	△342,211
有形固定資産の売却による収入	84,454	83,285
有形固定資産の除却による支出	△4,995	△11,305
無形固定資産の取得による支出	△10,390	△5,487
無形固定資産の売却による収入	117	51
投資有価証券の売却による収入	9,128	502
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△188	△908
長期貸付けによる支出	△11,815	—
長期貸付金の回収による収入	23,708	12,506
関係会社株式の取得による支出	△152	—
差入保証金の純増減額(△は増加)	41,460	44,973
その他	27,387	△26,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	△245,311	△236,319

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
利息の支払額	△32,536	△26,061
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△27,996	566,586
長期借入れによる収入	—	1,107,000
長期借入金の返済による支出	△626,290	△1,646,350
社債の償還による支出	△17,500	△17,500
自己株式の取得による支出	—	△360,516
配当金の支払額	△139,831	△199,636
リース債務の返済による支出	△27,904	△38,846
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△30,850
その他	△25,923	△6,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△897,981	△652,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	255	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	508,371	△213,707
現金及び現金同等物の期首残高	5,515,080	7,474,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,023,452	7,260,793

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,888,816	11,015,797	316,682	737,222	22,958,518
セグメント間の内部売上高又は 振替高	114,822	17,897	—	—	132,719
計	11,003,638	11,033,695	316,682	737,222	23,091,238
セグメント利益	705,613	67,621	189,891	1,998	965,124

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,158,677	24,117,196	—	24,117,196
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,358,233	1,490,953	△1,490,953	—
計	2,516,911	25,608,150	△1,490,953	24,117,196
セグメント利益	22,872	987,997	△644,837	343,160

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△644,837千円には、セグメント間取引消去△13,756千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△631,080千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客への売上高	10,583,642	11,475,005	296,939	691,718	23,047,305
セグメント間の内部売上高又は 振替高	108,163	3,033	—	—	111,197
計	10,691,805	11,478,038	296,939	691,718	23,158,502
セグメント利益	684,999	171,758	168,605	△2,030	1,023,332

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	1,137,680	24,184,985	—	24,184,985
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,337,008	1,448,205	△1,448,205	—
計	2,474,688	25,633,191	△1,448,205	24,184,985
セグメント利益	17,095	1,040,428	△652,758	387,669

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・パーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△652,758千円には、セグメント間取引消去△6,703千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△646,055千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。